

幕張メッセに「武器見本市」はらない！ 開催強行に市民とともに抗議



幕張メッセ前で武器見本市開催に抗議する
アピール行動 (11/18)

6月の「MAST Asia 2019」(武器見本市)に続き、11月18日から20日まで、幕張メッセで総合防衛展示会と称する「DSEI Japan 2019」(武器見本市)が県民・市民の「人殺しの道具は売るな!」「武器見本市はらない」の声を押し切って強行されました。憲法にも、「戦争への脅威をなくし」と掲げる市の平和都市宣言にも反しています。武器で平和はつくれません。



抗議行動の参加者によるダイ・イン



↑ F-35 戦闘機の模型 (ロッキード・マーティン社)
← 堂々と展示されているモデルガン
(かばさわ議員と中村議員のブログより)

地域になくってはならない公立・公的病院 厚労省は「再編」と名指しした病院の公表の撤回を

公表された市内4病院の中に「市立青葉病院」

9月26日、厚労省は「再編・統合」が必要な全国424病院を公表。市内では4病院(市立青葉、国立千葉東、県リハビリ、ジェイコー)が対象になっています。厚労省は、2017年の診療実績データなどをもとに一律に算出し、地域の実情を反映したものとは到底言えない内容です。

これらの病院は市民の命を守るために欠かせない役割を持っています。安倍政権は医療費削減のため病床数を削減するのがねらいです。日本共産党千葉市議団は、病院公表の撤回を求め、国への意見書案を提出しました。



都賀駅で市立病院の充実署名をよびかける野本議員(写真右)



蘇我駅東口で市立病院の充実署名をよびかける福永、安喰、中村の各議員

市民の願い実現へ 予算要望書を提出



鈴木副市長に予算要望書を提出する日本共産党市議団(副市長室にて)

10月23日、日本共産党千葉市議団は、市民要望アンケートで寄せられた要望等が、千葉市の来年度予算に反映されるよう「2020年度予算及び事業計画立案にあたっての重点要望」と、「安心して住みつけられる街づくりのために～2020年度予算への各行政区の要望～」を市に提出しました。各議員から、台風被害への対応、交通弱者への対応と支援、区民が望む文化ホール整備、海浜病院の早期建て替えなどを要望しました。

鈴木副市長は、「要望内容をしっかりと検討する」と答えました。

千葉市は、「住民福祉の増進」を本旨とする自治体としての責任を果たすために、率先して市民生活を守る施策の実施が求められています。

「ひとりも置き去りにしない市政」をめざす千葉市なら、市民のくらし最優先の予算に切り替えることが必要です。